

草津市・北谷古墳群 L 地点出土埴輪について

— 湖南地域出土埴輪資料の基礎的検討 —

辻川 哲朗

目次

1. はじめに
2. 北谷古墳群について
3. L 地点について
4. 出土埴輪について
5. 埴輪の検討
6. 遺構の検討
7. おわりに

— 論文要旨 —

北谷古墳群は草津市山寺町にかつて存在し、開発によってすべて滅失してしまった古墳群である。本稿は、ながらく未報告であった、古墳群内の一地点 (L 地点) において出土した埴輪の内容を報告することを主たる目的とし、あわせて本資料から派生する二三の課題についても検討をこころみた。

円筒埴輪の編年上の位置付けを検討した結果、北谷古墳群の空白期である古墳時代中期後葉～末葉頃の所産であることをあきらかにした。さらに、従来定見がしめされていなかった遺構の解釈については、今回あらたに探索して見いだした出土状況図を検討した。その結果、従来は原位置をたもった「埴輪列」とされてきたが、出土状況から人為的に移動された可能性を見だし、遺構の解釈への試案を提示した。

——— キーワード

古墳時代 埴輪 北谷古墳群